

平成 22 年度 第 2 回 磐田市旧見付学校協議会会議録概要

日 時 平成 23 年 2 月 8 日 (火) 15 : 00 ~

場 所 磐田市埋蔵文化財センター2 階研修室

出席者 ・旧見付学校協議会委員 7 名 (1 名欠席)
松下会長、松本副会長、宮澤委員、加藤委員、高橋委員、鈴木委員、望月委員
・事務局 5 人
飯田教育長、鈴木事務局長、山崎課長、早澤補佐、神谷副主任

傍聴人 なし

1. 議事

1) 報告事項 (むかしの授業体験、文化財防火デー消防訓練ほか)

事務局より説明

むかしの授業体験

- ・平成 22 年 8 月 5 日 (木)「国語」を実施、35 人が参加。8 月 18 日 (水)「作って遊ぼう」を実施、37 人が参加

消防訓練

- ・平成 23 年 1 月 26 日 (水) 文化財課職員、消防署職員ほか 32 名が参加。
- ・119 番通報訓練、避難誘導訓練、放水訓練を実施

主な意見

- ・消防訓練については地元へはどのように連絡したのか。一番に駆けつけていただけるとはご近所の方なので、ご理解いただくということが必要だと思う。
地元自治会長と学校近隣住宅に事前に案内をした。

2) 協議事項

旧見付学校 3 階展示計画について

旧見付学校入館者について

事務局より一括説明

3 階展示について、来館者が「楽しめる」「勉強になる」常設展示へ展示替えを行いたい。

具体的には、現在ある民具の展示を生かした形で、農業の 1 年の動きがわかる展示、小学校副読本「わたしたちの磐田」に掲載してある民具を展示、実際に手に触れ、体験できる民具を展示する案を提示。

旧見付学校入館者について、ここ数年入館者の落ち込みが見られるため、また訪れたい施設を目指して入館者の落ち込みに歯止めをかけたい。

具体的には、絣の着物の貸出し、お楽しみイベントの実施、地元商店街を巻き込んだスタンプラリーなどの各イベント案を提示。

主な意見

- ・旧見付学校は教育資料館ということであるが、教育資料館としてやるのか、教育資料以外のもの、例えば見付の宿場町の資料などを展示していくのか。教育資料館ということであれば限られた展示になるのでは。
- ・3階に民俗資料が置いてあることに違和感がある。民俗資料館としての役割から決別して当時使われていたような展示をしてみたら面白いのでは。1階の右側の教室が一番面白い、そういう面白さを3階にも。
- ・昔の暮らしも分かってもらうような展示であれば、触って体験できる展示を。
- ・見付学校は歴史的に非常に意味がある施設なので、たくさんの人を集めればいいということと訳が違うような気がする。
- ・見付学校は民俗資料館的なものでなく、見付学校という本来の姿にもっていくのが活かした使い方という感じがする。